

現代の「ニワ」を育てる

—住み続けるまちの居場所づくり—

Key Concept

都市居住の「ニワ」づくり

本提案では都市居住における外部空間である「ニワ」を、建物はもとより人と人をつなぐ役目となるよう「ニワ」の役割を再考し、位置づけました。

まちの余白の空間に、新たな息吹と共に地域財産として育てて行く場を創る

余白な空間は「ニワ」として生きる

みちの「ニワ」

車道・歩道空間、散歩道、街並み、景観、オープンスペースの形成

まちの「ニワ」

地域交流、観光財産、文化・福祉、学び、環境、伝統継承を形成

地域のづくり

生活の「ニワ」

住空間・住環境、ライフスタイル・サイクル・ステージの時間を形成

住み続けるまち・ひと・文化を継承

次世代に受け継がれる「ニワ」づくり始動

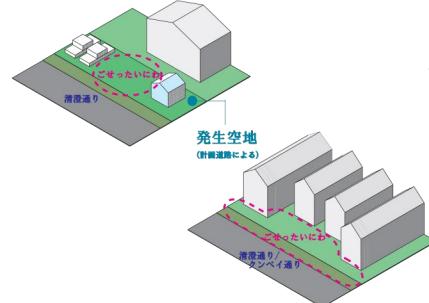
本提案では計画道路によって分断された街や人の関係性、多く点在する駐車場等の空地による街の過疎化に対して、古来日本の建築物が外部空間と分かちがたく結びついてきた「ニワ」文化の概念をもとに、5つの視点から検証「時と人がまちをつむげる」ような「現代のニワ」のあり方を再考することで、快適な都市居住を目指し、地域で築かれてきた人と建築物の両財産が共に絆を育み、住み続けたくなる生活提案と空間づくりを創造します。

◆<ニワを創る5つのProposal>

Part-1	計画道路にともなう新道・旧道整備と街づくりの活性化 1-01 : 新道・旧道に街づくりの顔「ごせったいにわ」をつくる 1-02 : 計画道路発生空地や既存庭から地域参加の場と景観を育てる
Part-2	駐車場等未利用空地活用による住処・交流の場づくり 2-01 : 地域に住み続け絆を絶やさないよう計画道路の代替住戸をつくる 2-02 : 地域交流の基点をつくる
Part-3	狭あい道路の活性化を推進し散歩路としての細部を形成 3-01 : 未整備道路と花や緑、石畳による散歩路づくり 3-02 : 散歩路したくなる街づくり
Part-4	地域のストックを生かした景観・文化・交流づくり 4-01 : 宿場文化と観光資源と景観づくり 4-02 : 文化継承と住民の学びにわづくり
Part-5	地域活性への新規導入事業と都市居住の交流環境を提案 5-01 : 地域リーダーを育成・支援を行う 5-02 : mate 活動による新規交流事業等を導入、推進する

◆みちの「ニワ」を育てる

計画道路整備にともない旧道や狭あい道路も含めた道空間を創造し、道の構成要素である床・壁面等も含めた「みちのニワ」づくりは、街の景観づくりと同時に道と人が、ネットワークできる街づくりの核になります。



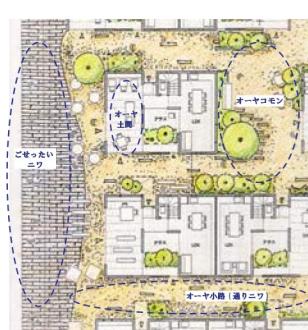
◆まちの「ニワ」を育てる

宿場文化のおもてなし精神、思いやりを大切に、空地や既存空家等も含め再生同時にソフト支援も含め、人と人・地域・歴史・風土がいろいろにツナガり、住民・来訪者の出会いを育む交流拠点となります。



◆生活の「ニワ」を育てる

「ごせったいニワ・ニワのつぼみ」等空地利用の「生活のニワ」づくりは、軽微な工夫・増改築・新築と様々に可能な地域参加型住宅づくり、住処が街の財産づくりとの意識改革で、住み続けたくなる環境を育みます。



時と人が紡ぐ街

